

バスケットが好きだから

「イタリアで開催される世界大会に出てみないか」。

横浜市で開催された『全国ゴールドシニアバスケット大会』に参加した際に、チームへの加入を誘われた田中さん。

世界大会に出場する『侍Senior Ballers』は、シニアバスケの全国大会に出場した方の中から、選ばれた選手で結成されるシニアチームです。

中学校のバスケットボール部に入学してから、これまでバスケットボールを愛してきた田中さん。

現在は、帯広市を拠点に活動しているシニアチームに参加するほか、以前に外部コーチとしてバスケットボールを教えていた当時の教え子などとともに、室蘭地区で

◀コート内を縦横無尽に駆け回る田中さん



社会人チームを結成するなど、日々バスケットボールを楽しんでいます。

世界には、60代や70代で、バスケットをしている人がたくさんいる

「プロリーグが開幕してバスケットが盛り上がってきたけど、シニアとなると全国大会は、数えるほどしかない」と、日本でのシニアバスケの現状を語る田中さん。

小学校からバスケットボールを楽しんでいる人も、30歳、40歳と年齢を重ねるごとに、引退する人が増えてくるといいます。

田中さんが参加する世界大会は、30歳から75歳まで、年齢ごとに分けられたチームがアメリカやブラジルなど、世界各地から参加します。

「自分が参加することで、シニアバスケにも世界大会があるということを知ってもらえたら、大会への参加を目標に、もっとと長くバスケを続ける人が増えるんじゃないか。シニアバスケは、もっと盛り上がるはず」。2018年には島根県松江市で、世界大会が開催されるのが決定されるなど、今後のシニアバスケに注目です。

きらり

KIRARI

た なか よし ろう
田中芳郎さん (来馬町)

小学生を対象としたミニバスケットボールや、中学校・高校の部活動、社会人リーグ、そして2016年、二つのプロリーグが統一して誕生したB. LEAGUE。バスケットボールは、幅広い世代に愛されるスポーツの一つです。

今回は、6月30日から7月9日まで、イタリアで開催される『14th World Maxibasketball Championship』に『侍Senior Ballers』(65歳から70歳までの日本チーム)の一員として参加する田中芳郎さんにバスケットボールに対する思いを伺いました。

世界各地の人たちと、バスケットボールができるなんてわくわくしちゃうよね



昭和25年、大分県豊後高田市生まれ。66歳。高校を卒業し、帯広市の大学に進学。獣医の資格を取得した後、結婚を機に登別へ。来馬町で軽種馬(サラブレッド)を生産、飼育する青藍牧場を経営。平成29年3月に胆振軽種馬農業協同組合代表理事組合長に就任。牧場を経営する傍ら、市内や帯広市を拠点にバスケットボールを行う。